



平成 20 年 11 月 7 日

セツナン化成株式会社 本社ならびに関西工場移転について

長瀬産業株式会社

長瀬産業株式会社（東京都中央区：代表取締役社長 長瀬洋、以下当社）は、100%子会社であるセツナン化成株式会社（大阪府東大阪市：代表取締役社長 小澤進、以下セツナン化成）の本社ならびに関西工場を大阪府和泉市の「テクノステージ和泉」に移転することにしましたのでお知らせ致します。

セツナン化成は 1961 年に設立し、関西工場（大阪府東大阪市）と関東工場（栃木県真岡市）の 2 製造拠点で、汎用及びエンブラの合成樹脂コンパウンドを年産 2 万トン規模で生産しております。移転を機に従来の合成樹脂メーカー向けコンパウンド事業に加え、当社と協働で市場からの合成樹脂関連ニーズを汲み上げながら、製品化につなげる事業を展開していきます。

移転にあたり大阪府和泉市の「テクノステージ和泉」に 4,800 坪の用地を購入し、現在の関西工場の設備を移設するとともに新たに小型押出機 2 系列を導入します。新工場完成は 2010 年 1 月を予定しておりますが、現関西工場からの移設完了時期は 2010 年の 5 月以降になる見通しです。

国内の樹脂総生産量は今後大幅な伸びは期待できないとの予測が大勢を占めておりますが、環境関連や特殊コンパウンド等、高機能コンパウンディングへの需要は拡大すると期待しております。新工場ではこれらのニーズへの対応を想定し、スーパーエンブラまでを視野に入れた設備環境を整えるとともに、2007 年 7 月、兵庫県尼崎市に開設した「ナガセアプリケーションワークショップ」との連携を含め開発技術体制を拡充します。一方関東工場へはリサイクルニーズや透明樹脂を中心としたコンパウンドを集約し、東西工場の機能分化を明確にしていきます。2010 年には東西両工場合算で製造数量 2 万 3 千トン、売上高 74 億円を目指してまいります。

本件に関するお問合せ先

長瀬産業株式会社
工業材料事業部 企画開発チーム
高木 雅弘（電話：03-3665-3833）